

富山を見つめなおす 県内企業・施設研修

期 日 令和2年10月15日(木)

場 所 立山カルデラ砂防博物館、イタイイタイ病資料館、スギノマシン、榊田酒造店

参加者 第1学年探究科学科生徒80名

県内企業・施設研修では第1学年探究科学科生徒80名がクラスごとに立山カルデラ砂防博物館、イタイイタイ病資料館、スギノマシン、榊田酒造店に訪問させていただき、学びを深めた。

立山カルデラ砂防博物館では、立山カルデラとその周辺地域の環境についての資料を閲覧し、学芸員の方から話を伺い、富山の厳しい自然の歴史と、自然と共存するために闘った人々の事績を学んだ。私たちが富山は災害の少ない地域だと思いながら暮らしているのは、自然と闘った先人たちと、現在進行形で調査を行っている方たちのおかげだと気づかされた。



イタイイタイ病資料館では、富山で起きた公害がどのようなものだったかということや、どのような被害があったのかを映像資料などから学んだ。近年まで汚染田の土壌改良が行われていたことや、イタイイタイ病が患者に苦痛を与えるだけでなく、その家族にまで風評被害を及ぼしていたことを知って、人の手で人を苦しめるようなことがあってはならないと改めて感じた。

スギノマシン早月工場では、高圧の水で物体を切断するウォータージェット技術を用いて、金属が精密な形に加工されていく様子を間近で見学し、その技術力の高さに驚きの声を上げた。また、ウォータージェット技術を「磨く」「砕く」などの6つの技術に応用されていると知って、多方面に技術力を生かし、他にはない独自の技術を作り出すことの重要性を認識できた。



富山市東岩瀬では、榊田酒造店社長榊田隆一郎氏の案内のもと、大町新川通りの街並みや、榊田酒造店の酒蔵を見学した。榊田氏には案内の途中で、酒造店の多彩な経営戦略、街づくりに対する思いをたくさん語っていただいた。岩瀬の町並みの移り変わりや、榊田氏の町おこしに積極的に関わろうとする意識とそのエネルギッシュな生き方を目の当たりにし、多くの生徒が刺激を受けた。

今回の研修を通じて、富山には、誇れる技術や歴史があること、富山の街に新たな魅力が生まれていること、公害や災害などの歴史を乗り越えて今の富山があるということに気づかされた。これらの気づきは、物事を見通す新たな視点を与えてくれた。